

イベント運営をIoTで支えるサテライトオフィス企業

「秋の南阿波を走ろう」のキャッチフレーズで、今年も11月11日に行われたのがサイクリングイベント「四国の右下ロードライド2018」。

このイベントで、最も重要な競技タイムの計測を担当したのが、美波町のサテライトオフィス企業・株式会社イーツリーズ・ジャパンです。

位置情報を確認するタグを選手のゼッケンにつけ、ポイントごとに設置した受信機を通して記録を計測していくシステムは、冬の千羽海崖トレイルランでも活躍し、全国各地のスポーツイベントでも用いられ始めました。

今回は選手のゴールとともに完走書へ記録が自動印字されるシステムが初めて使用されましたが、この開発を担当したのが今夏以来、インターンシップ生として、船田社長の指導の下で学んできた阿南高専専攻科の学生さんたちです。自分たちの手掛けたシステムが上手く動き出すと次第に笑顔も多くなり、最後には「美波で学べてよかった」との感想も聞くことができました。

この町で開発した技術が新しいビジネスとして育っていく。地域の教育機関と連携した人材育成も含め、今後もこのような例が次々と生まれることを期待したいと思います。



「失敗は許されない」とイベント開催直前まで真剣な面持ちで、何度もテストを繰り返していた学生さんたち。



全国各地からの約600人がエントリー。有名選手も多数参加しました。

～甞れ、「谷屋(たんにゃ)」共にプロジェクト～にご協力を！

日和佐浦地区、古い漁村の集落の街並みを残す一角に佇む廻船問屋「谷屋(たんにゃ)」。1870年に建設されたこちらは貴重な建築技法も多く用いられ、歴史的に価値のある建物でもあることから美波町では保存に向けた改修工事を計画しています。

工費の一部をインターネット上での出資者募集・クラウドファンディングで集め、美波町の試みを応援してくれた方々を後の再活用へ結び付けていこうという計画です。

インターネット上での出資者募集は12月27日まで。みなさんもぜひ、この古民家再生プロジェクトに参加してみてください。

インターネット以外での出資希望など、お問い合わせは下記で承っています。
美波町役場 政策推進課 ☎77-3616



インターネットでは「Readyfor 谷屋」で検索。スマートフォンからはこちらのQRコードでアクセスできます。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリ2階)

制作：美波ふるさと創造広報チーム

